

1 本資料を活用した研修の趣旨

※ 資料①を参照しながら、冒頭にコーディネーター等から説明（例）

- ◇ 本県においても、わいせつ・セクハラ行為による懲戒処分事案が発生しています。
- ◇ 学校管理下で起きていること、児童生徒に対して行っていること、授業中に起きていること、以前から繰り返しの行為であること等は、学校教育に携わる一員として重く受け止め、個人の問題と整理することなく、組織的に未然防止を考えていく必要があります。
- ◇ 自分の行為が、犯罪行為やハラスメントに該当することに気づかず、「無知」が不祥事を引き起こすこともあります。
- ◇ 一人の不適切な行為が、組織全体の信用失墜につながるものであることを改めて確認し、学校教育に対する児童生徒・保護者・地域の信頼を高めるために、教員一人一人が自己への「気づき」、他者への「気づき」を大切にしていく必要があります。
- ◇ 高い倫理観が求められる教員であっても、一人一人の欲望や弱点があり、ストレスもあります。不祥事は誰でも当事者になり得るものと認識することが大切です。
- ◇ 不祥事の防止には時間と労力がかかります。研修等により一時的に教育にしわ寄せが生じることもありますが、安定した教育活動を行うために、組織として必要なコストと考え、当事者意識をもって、研修に臨んでください。

2 研修の方法（例）

| | |
|--------------------|--|
| 基本パターン(35分) | 研修の趣旨説明(2分) + 研修 A(5分) + 研修 B(視聴のみ 13分) + 研修 C(15分) |
|--------------------|--|

- ※ 確認シートを事前配布すれば **30分程度**の研修となります。 ※ 研修B、研修Cで「話し合い」の設定により、時間調整が可能です。
 ※ 小グループ単位で、研修Bのみの実施も可能です。 ※ 短時間で研修Aのみの実施も可能です。

3 研修の内容（例）

研修 A 資料②「わいせつ・セクハラ確認シート」の活用(5分)

(1) 資料②「わいせつ・セクハラ確認シート」に各自取り組む。

※ 確認シートは3回分のチェック欄があります。各自保管の上、定期的な使用も可能です。

気づき 1 わいせつ・セクハラの見点から、自分の行動を振り返り、確認する。

気づき 2 わいせつ・セクハラ具体的な態様や問題点について知る。

(わいせつ・セクハラに関連する法令・条例・ルールの再確認も)

(2) 実施後は、研修のコーディネーター等が

- ・「B」と評価した項目については、自己改善が可能なのか、周囲や他者の支援が必要なのか、しっかりと考える必要があること

- ・一つでも「C」と評価した項目があれば、重大なことと受け止める必要があること

等について言及し、参加者に「気づき」の機会を与え、参加者全員が当事者意識を持った研修となるような環境づくりを行う。

研修 B DVDの視聴(13分)+小グループの話し合い(オプション)

(1) 場面1～場面3(動画約13分)を視聴

※ 話し合いを行う場合、場面1「被害にあった生徒と友人の登校場面」、場面2「被害生徒の自宅 家族の姿」、場面3「当該学校での教師の対話・追想」について、小グループに分かれて感想を述べ合う形態が想定される。

研修 C 資料①「教員によるわいせつ・セクハラの防止に向けて」の活用+話し合い(15分)

(1) 資料①「教員によるわいせつ・セクハラの防止に向けて」を用いて、「抑止」の観点から、不祥事による影響を確認する。

気づき3

- 本県におけるわいせつ・セクハラ事案(校種・年代・処分等)を知る。
- わいせつ・セクハラ事案がもたらす様々な影響(道義上・民事上・刑事上・行政上の責任)を確認する。
- 被害者(児童生徒や同僚等)及び家族に深刻な傷を残し、たくさんの人を悲しませることを確認する。
- 学校が、他の職種と比べてわいせつ・セクハラが起きやすい環境にあることを確認する。

(2) 小グループ、少人数での話し合い **気づき4**

<話し合いの観念の例>

- 資料①②を活用しての感想・交流
- ストレスをためない方法やストレス解消法
- 医学的な観点からの考えに対する感想・交流

(3) 研修のまとめ

<特に重視したいポイント>

- どの学校でも起こり得る ○ 誰でも当事者になり得る
- 自分自身や周囲の「気づき」の大切さ

4 各種相談窓口の情報提供

研修コーディネーター等から、公立学校共済組合山形支部の組合員が利用できる相談窓口(資料②に記載)を紹介するとともに、スクールカウンセラーや学校医(産業医)の活用、相談体制についても説明する。

- メンタルヘルス健康相談(各医療機関) ○東北中央病院 心の健康相談
- Web相談(こころの相談) [URL:https://www.mh-c.jp/](https://www.mh-c.jp/)
- 電話・面談メンタルヘルス相談